

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況

取組年度	令和4、5年度
交付金事業	地方就職氷河期世代支援加速化交付金事業
目 標	<p>第1ステージ</p> <p>【長崎県】 県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。（R2～R4年度）</p> <p>【五島市】 就職氷河期世代の実態把握のためのアンケート調査及びキャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。（R3～R4年度）</p> <p>第2ステージ</p> <p>【長崎県】 第1ステージと同様（R5～R6年度）</p> <p>【五島市】 キャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。（R5～R6年度）</p>

【令和4年度取組状況及び令和5年度取組概要等】

<令和4年度取組状況及び課題>

地域就職氷河期世代就労支援事業（五島市）

（1）就労支援事業

令和3年度の調査事業で支援を希望したものの、就労に結び付かなかった支援対象者41名と、新たに支援を希望する就職氷河期世代の求職者20名に対し、五島若者サポートセンターなどを運営するNPO法人心澄（しんじょう）に就労支援業務を委託した。

支援にあたっては、キャリアコンサルティングを中心に実施。興味検査や職業適性検査、職業レディネステストなどにより対象者の状況を把握した上で、グループワーク、個別面談や職場見学などにより就労を支援した。

結果、令和4年度中に13名が就労し、うち1名は正規就労者となった。

（2）課題

事業実施の結果、対象者の就労は13名に留まったが、支援対象者の多くは、これまで長く働いていなかったり、社会に出ていない方も多く、短期間で就労に繋げることは困難であった。

今後は、対象者に合わせたきめ細かな支援を、より継続的に実施する必要があると考える。

<令和5年度取組概要>

令和5年度は、前年度の事業で支援を希望するとした就職氷河期世代の方に対し、継続して就労支援を実施する。

昨年度から支援を行っているが、短期間の支援では就労に結び付かなかった方が中心となるため、前年度以上にきめ細かな、それぞれの個性に応じた支援が必要であり、前年度に引き続きNPO法人心澄に委託して支援を行っている。

本年度は未就業の48名への支援を中心に実施し、就職氷河期世代の安定した就労状態の確保・維持に務めるものとする。